

新年あけまして おめでとうござい ます



成田市長
小林 攻

市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

さて、地方自治が大きな変革の時代を迎える中、昨年は「明日の輝き成田から」をテーマに市民の皆様とともに市制施行50周年の実りある歴史を祝い、そして明日の成田の大いなる飛躍を誓った意義深い年でありました。本年はこの節目の年を契機として成田市百年の大計に立った新たな歩み始める年であります。

わたしは、新生成田の創造を目標に、次の4点を骨格としてまちづくりを進めてまいります。

一、**空港を活用したまちづくり**
空港のもつ魅力、活力を最大限に生かすため、門前町の特色が生かせる仕組みや空港を中心に有機的に結びついた観光地づくりを進めることで、空港のもつエネルギーを観光振興などに結び付けていきたいと考えております。



空港の完全化は重要課題



まちづくりの核となる駅周辺地区

そのためには空港の完全化はぜひ実現しなければなりません。特に、現在課題となっており、暫定平行滑走路の2,500メートル化、成田新高速鉄道の早期開業、北千葉道路の事業化などの課題に積極的に取り組むとともに騒音対策の充実、騒音下の土地利用を図ってまいりたいと考えております。

二、**市町村合併によるまちづくり**

昨年3月、設置された成田市・下総町・大栄町合併協議会は、平成17年度内の合併を目指して、現在、事務事業の調整や新市建設計画の策定を行っております。今後、市民の皆様のご意見を参考にしながら、新市の将来像を見据え、北総の中心都市としての責任と役割を果たせるまちづくりを努力してまいります。

三、**先進的な環境都市づくり**

現在、計画中の新ごみ処理施設整備事業を推進し、資源

のりサイクル化など環境への負荷の少ない持続可能な「循環型社会」を構築し、国内外に誇ることのできる先進的な環境自治体を目指してまいりたいと考えております。

四、**安全で、安心して暮らせるまちづくり**

市民が安全に、安心して生活のできるまちづくりは、市政の優先課題であります。市、警察、地域が一体となった防犯体制の確立や災害に対する危機管理の強化に今以上に取り組んでまいります。

これからも市民の皆様の声に耳を傾け、しっかりと地に足をつけた現場主義に徹しながら、直面する諸課題に真剣に取り組んでまいりたいと存じます。

年頭にあたり、市民の皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに本年も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさついたします。